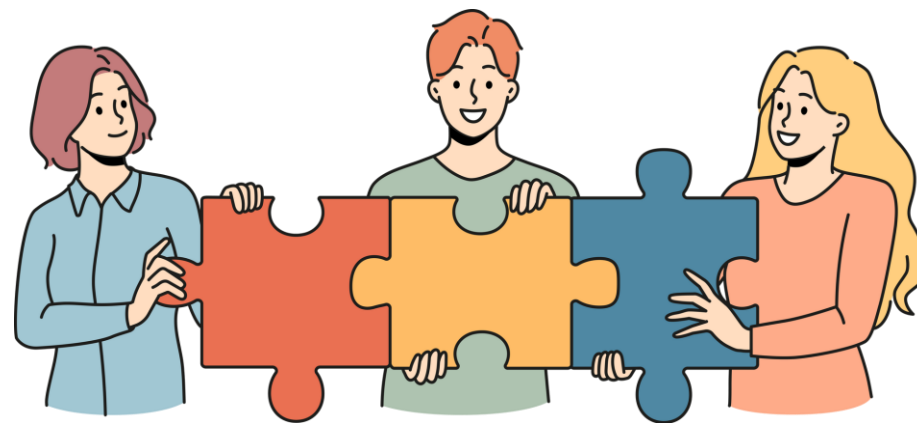


市民の想いと得意を地域の方に
社会人ボランティアの力を
習志野の地域活動団体につなぐ

ならしのプロボノチャレンジ 2024

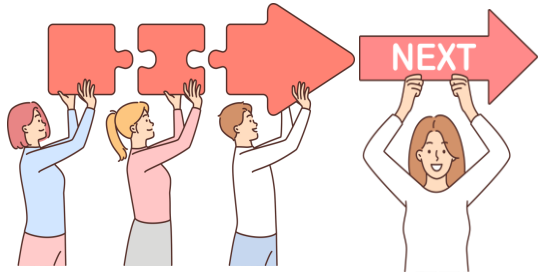
令和6年度習志野市市民協働型委託事業



1

「ならしのプロボノチャレンジ 2024」の募集について

「ならしのプロボノチャレンジ2024」が始まります！



「市民の想いと得意を地域の力に」

仕事や生活で得た経験やスキルを活かすボランティア「**プロボノ**」。習志野市で活動する団体の運営基盤の困りごと解決に、社会人ボランティアの多様なスキルや経験をつなぎ、団体のステップアップをめざす取り組みです。テーマでつながる新しい地域との関わり方を応援します。

「習志野市をもっと楽しく暮らしやすく」に、「市民活動団体の力×市民の想いと得意」で貢献します。

まずは、「プロボノ」とは？



プロボノとは、職業上の経験やスキルを生かして取り組む社会貢献活動のことで、「公共善のために」を意味するラテン語 Pro bono publico に由来すると言われています。自発的に行うボランティアのひとつの形ですが、プロボノかどうかを判断するのは、「職業上の経験やスキルを活かして社会課題に取り組んでいるか」という視点になります。

災害時に行われる職能を活かしたボランティアをはじめ、ビジネススキルを公益的な活動に活かすなどの活動が、プロボノとして日本の全国各地で広がりつつあります。

地域で活動する団体にプロボノを



日々の活動に手いっぱい、運営面の専門的な技術や知見は不足しがちな団体が多くあります。寄せられる相談例や調査結果を見ると、活動歴の長い団体の高齢化とそれに伴う人材に関わる課題をはじめ、団体それぞれが状況、悩みともに千差万別。課題が絡み合い、何から手をつけたら良いか困っているケースも。

個別の伴走支援が必要な場面が多く、外部からの新しい視点や外部のビジネススキルなどのサポートで、団体の活動がステップアップできることがたくさんあります。

プロジェクト型プロボノを習志野市で



団体の運営面の困りごとを切り分けて、プロボノで支援し、市民活動を促す取り組みを協働で行う自治体が増えています。

課題やニーズに応じて事務局で編成されたプロボノチームで、期間内で取り組み可能な支援範囲やゴールを設定し、プロジェクトとして参加団体の支援を行います。期間限定で行うので、忙しい人も関わりやすく、チームの仲間とつながり刺激しあいながら、より地域のことを知れるボランティア参加の機会となります。また、外部の力や視点が、団体の運営基盤の強化や団体運営の見直しにつながります。

チームを組み期間限定で行う プロジェクト型のプロボノとは

初めてのプロボノでも参加しやすい「ならしのプロボノチャレンジ2024」

「運営上の困りごとを解決したい地域活動団体」と「3～5名の社会人ボランティア」を事務局がつなぎ、ひとつのチームとなり、課題解決にあたるプロジェクト型のプロボノです。支援内容と期間を絞って、短期集中で行います。

～プロジェクト型プロボノは～

チームで支援！

得意分野のスキルや経験を活かした支援

約3カ月間！

短期集中で取り組み、一定の成果物を作成します

サポートします！

団体もプロボノ参加者も、事務局がサポートし伴走します

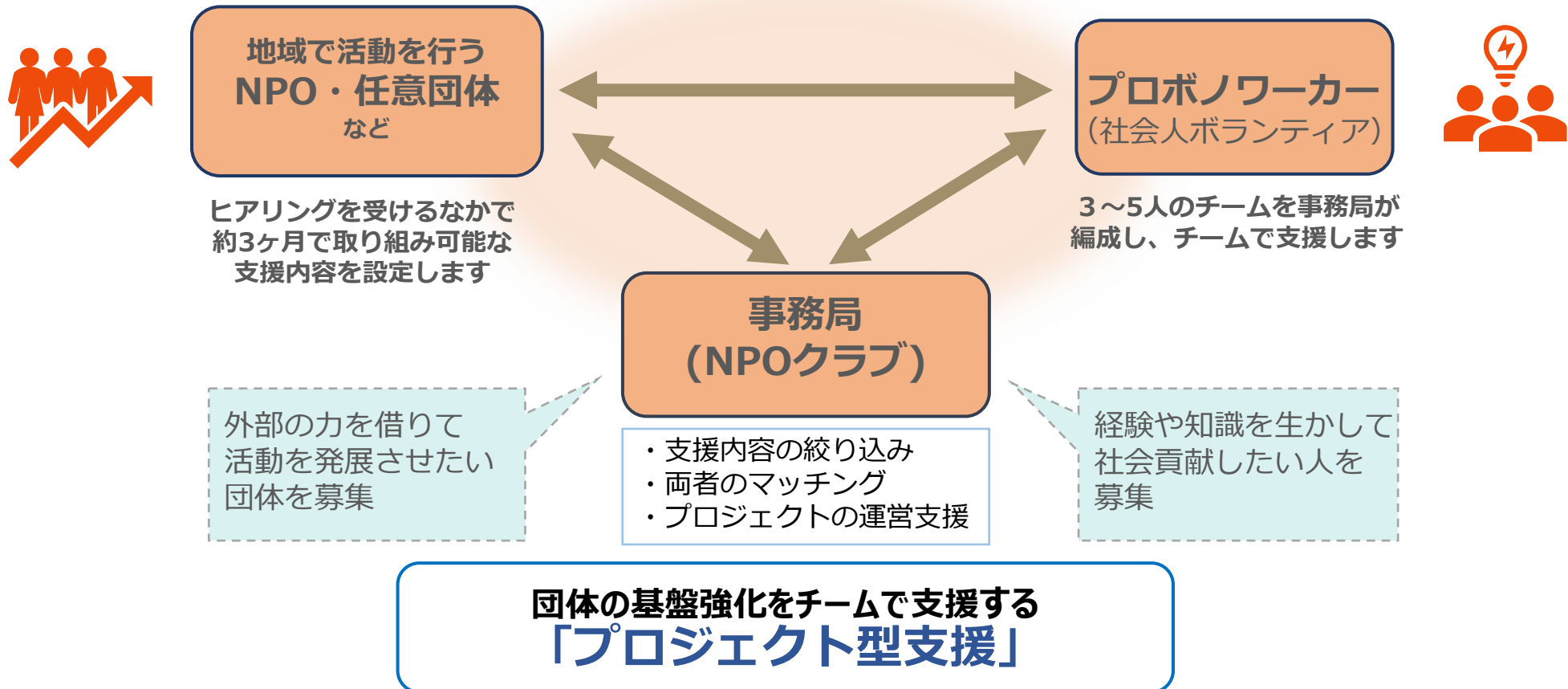
団体にとっては、外部の様々な視点やスキルの提供を受けられ、ステップアップの契機に！

社会人ボランティアにとっては、経験が活かせる充実感やチーム作業でのおもしろさ、地域の課題や人たちとの接点を感じられるボランティア！

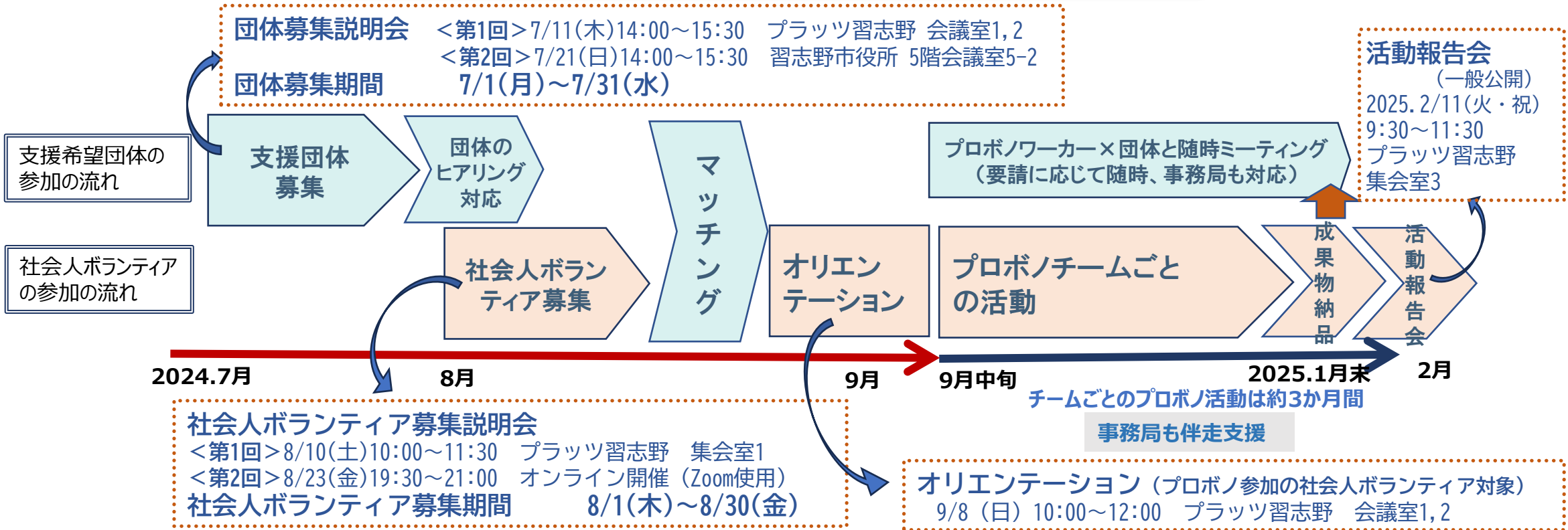
期間限定なので忙しい社会人や団体も参加しやすく、ゴールが明確で取り組みやすい！

事務局が間に入るのでプロボノが初めてでも、相談できて、参加しやすい！

「ならしのプロボノチャレンジ2024」では、 3者がそれぞれチカラを発揮して成立します



事業実施の流れについて



運営を改善・強化したい！

事業計画の立案

団体メンバーそれぞれの思いをワークショップ等で整理し、反映した事業計画づくりを支援します

作業効率化の提案

作業内容の棚卸・整理を行い「見える化」することで、効率化するための提案を行います

参加の輪を広げたい！

団体リーフレットやチラシ案作成

伝えたい人たちへの参加を訴える効果的なチラシや団体の紹介パンフレット案などを作成します

オンライン環境の整備

オンライン会議や講座ができるような環境づくりのための提案や導入時の支援を行います

ホームページの作成、SNSの導入、動画撮影

ホームページの新規立ち上げや既存ページの改善、SNSの導入時や動画撮影の支援などを行います

資金調達を強化したい！

営業資料の作成

企業との連携・協働の実現に向けて、団体のプレゼン資料の作成または改善・更新を行います

資金調達案の提案、寄付管理

寄付管理の効率化検討および必要な「ツール」の構築を支援したり、資金調達の提案を行います

活動の刷新や見直しをしたい！

アンケート活用

受益者のニーズや要望、または、団体の活動の意義や価値について数値化して把握します

ニーズ調査、マーケティング調査

活動やイベント等の利用者・支援者等への調査を通して、効果的な改善方法等を整理・提案します

課題整理ワークショップ

団体の課題を棚卸・整理したり、団体の在り方や課題解決の方向性を一緒に検討します

団体のホームページ立ち上げを支援

(ホームページの内容・構成を整理したうえで、
更新作業も自分たちでできるよう操作方法を伴走支援)

チームメンバー：プロボノワーカー4名 ×
団体メンバー5名 × 事務局1名

コロナ禍のため完全オンライン
で実施。ホームページ作成の操作
を、団体メンバーがZoomで画面
共有しながらサポートを受けて学び
ました。団体メンバーが作業分担
して、約3ヶ月で完成し、
更新作業も習得！

活動予定・報告

2022年3月10日開催予定の田植え体験参加者募集
田植え体験報告



Facebookの活用を支援

(活用のための勉強会の実施。

アカウント開設、操作方法なども個別に支援)

チームメンバー：プロボノワーカー4名 ×
団体メンバー5名 × 事務局1名

SNSに不安感のあった団体の
メンバーも安全に使えるよう
勉強会を2回開催。マニュアル
も作成しました



もつと習志野で
手をつなごう

参加団体の募集について

参加希望団体の募集

ならしのプロボノチャレンジ2024



社会人ボランティアで結成したプロボノチームや事務局のサポートを受けながら、約3ヶ月間の短期集中で一定の課題解決に取り組む団体を募集します。外部の力を取り入れて団体の活動をステップアップしませんか

募集締切

2024.7.31(水)

募集対象

習志野市内を拠点とする市民活動団体（町会・自治会を含む）
5団体程度

お申込み

まずは電話で説明会にお申込みください。
習志野市 協働政策課 市民協働推進係 ☎(047)407-3185

お申込みの際に、①説明会参加希望日、②団体名、③担当者のメールアドレス、④電話番号、⑤支援希望内容 をお聞かせください

【事業についての問合せ】

認定NPO法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
☎(043)303-1688（平日9:00～18:00）
✉npoclub3@gmail.com 団体HP <https://npoclub.com>

令和6年度習志野市市民協働型委託事業

最新の情報は
こちらから



【団体募集説明会】

第1回 7/11(木) 14:00～15:30
プラッツ習志野 会議室1,2
(習志野市本大久保3丁目8-19)
京成大久保駅 徒歩1分

第2回 7/21(日) 14:00～15:30
習志野市役所 5階会議室
(習志野市鷺沼2丁目1番1号)
京成津田沼駅 徒歩7分

※7/21は閉庁日のため、集合時間・集合場所をお申込み時にお知らせします。

事業説明や活用事例のほか、個別相談の時間も設けています。日程が合わない場合は、どうぞご相談ください

※プロボノに団体エントリーされた場合のプロボノ活動期間は、9月初旬頃～1月末の間の約3ヶ月間となります。2月11日には活動報告会を予定しています。

私らしい習志野との
つながりかた

社会人ボランティアの募集について

社会人ボランティアの募集

ならしのプロボノチャレンジ2024



仕事や生活のなかで得た経験やスキルを、地域のために活かしてみませんか。
働きながらでも参加しやすい期間限定のプロジェクト型です。
地域の人たちとゆるやかにつながり、地域の問題に取り組むなかで、視野も広がり、
新たな自分の発見があるかもしれません。あなたの地域デビューも応援します。

募集期間

2024.8.1(木)～8.30(金)

募集対象

習志野市内に在住・在勤の社会人の方 20名程度
(他市町村からの参加も可、定員を超えた場合は市内の方を優先)

お申込み

下の申込フォームから説明会にお申込みください。
または、①説明会参加希望日、②氏名、③メールアドレス、
④電話番号、⑤参加動機 を添えてメールでお申込みください



社会人ボランティア募集説明会の申込みフォームURL →
<https://forms.gle/nov6qgKe9FdH35tBA>



【問合せ・申込み先】

認定NPO法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
☎(043)303-1688 (平日9:00～18:00)
✉npoclub3@gmail.com 団体HP <https://npoclub.com>

社会人ボランティア募集説明会

第1回 8/10(土) 10:00～11:30
プラッツ習志野 集会室1
(習志野市本大久保3丁目8-19)
京成大久保駅 徒歩1分

第2回 8/23(金) 19:30～21:00
オンライン開催 (Zoom)

日程が合わない場合はご相談ください

当日は、事業説明のほか、チーム型プロボノの経験者への質問タイムなどで、ご不明点をクリアにしてください！

※プロボノにエントリーされた場合のプロボノ活動期間は、9/8(日)のオリエンテーションから1月末の間の約3ヶ月の間となります。
2/11(火・祝)の活動報告会では、他のプロボノチームとの情報交換ができます

令和6年度習志野市市民協働型委託事業

2

参考資料

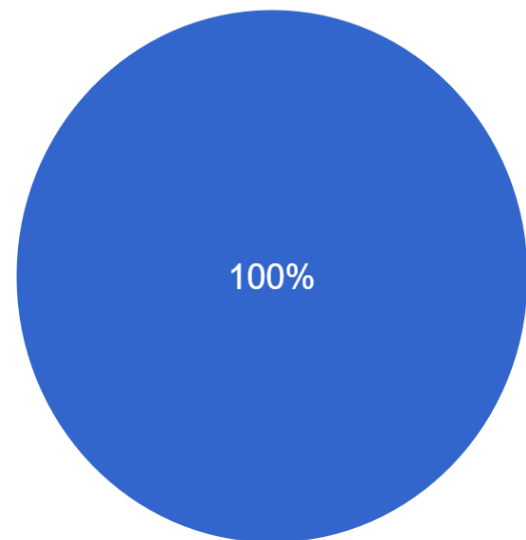
これまでプロボノに
参加した団体の声など

団体にとってのプロボノは？ープロボノ参加団体の声

2019年～2021年の3年間、千葉県を受託事業として同様のプロジェクトチーム型のプロボノ「ちばプロボノチャレンジ」を行い、延べ20団体、延べ64人の社会人ボランティアが参加しました。2021年の参加団体の声を紹介します

【事業全体について】今回プロボノの支援を受けて、全体としてよかったですか？

6件の回答



- とてもよかった
- よかった
- あまりよくなかった
- よくなかった

<2021年度プロジェクト完了後アンケートより>

団体にとってのプロボノは？ープロボノ参加団体の声

【事業全体について】「よかった」または「よくなかった」と感じたのは、主にどのような点ですか？

6件の回答

分析だけでなく、改善点についてもわかりやすくご掲示及びご提案いただき、一緒に取り組んでいただいたおかげで、一同迷わず取り組むことができました。

様々な課題を把握、分析してくださった事。最後の最後まで応援していただきました。

様々な視点からの提案と豊富さが、新しい発見をさせて頂けたのが良かったです。
当方の成果への漠然としたイメージにより案が多くなってしまい、期間内に解決できるものが少なくあまり掘り下げられなかったのが残念でした。

ZoomによるサポートでHP作成まで出来たこと。

よかったこと：プロボノチームが全2回のワークショップを丁寧に実施していただいたこと。成果物が手元に残り、団体としてさらに活用できそうであること。

外部の人から客観的に見てもらったこと
自分達の足りないことを気づかせてもらったこと
こういった機会を貰えたこと

<2021年度プロジェクト完了後アンケートより>

2019~2021年度の事業実施後、 2022年1月に行った参加団体へのアンケート結果について

<回答>

- ・プロジェクトの中でアンケートを作成。そのことが反省材料、またこれからの課題となっています。
- ・成果品にある課題が現在進行形なので、要点や方向性など確認等の振り返りに使っている
- ・方向性をはっきりさせることができ、活動に対するモチベーションは上がり続けています。お客様、プロボノワーカーの皆様からの第3者視点での評価や提案は、想像以上に内部に大きな影響を与えていただきました。
など

支援を最大限に活かす
団体の「受援力」は
プロボノ成功のカギ！

多くの団体メンバーの参加やメンバーへの周知ができた参加団体は、
終了数年後も課題意識が続いていて、プロボノによる影響を感じている

2019~2021年度の事業実施後、 2022年1月に行った参加団体へのアンケート結果について

プロボノプロジェクトが終了してから、振り返ってみて団体内部に何か変化を感じていましたか？該当するものがあれば選んでください（複数回答可）

＜多かった回答の選択肢＞

- ・情報発信の重要性が認識され、情報発信の仕方や頻度が変化した（7団体）
- ・プロボノで共有した運営上の課題や活動内容の改善に取り組んだ（5団体）
- ・代表者やメンバーの活動のモチベーションが向上し、活動が活性化した（5団体）

具体的な支援内容以外に、団体内部の意識変化にも貢献！
外部の視点での団体の魅力発見や外部からの応援は、団体の活動意欲につながる

参加した社会人ボランティアのアンケート回答

N=19

- 「ちばプロボノチャレンジ2021」に参加されて全体としてどのように感じましたか

参加してとても良かった	参加して良かった	どちらともいえない
7	10	2
団体の役に立つことが出来た	自分のスキルが活かされた	メンバーと関わり合い方が難しい
団体が喜んでくれた	課題の進め方が分かった	解釈・理解が違うところがある
団体に貢献できた	いろいろと考えることが出来た	
活動団体との出会いと協働体験	新しい体験が出来た	
支援団体と関係が持てた	新しいことに興味を持てた	
関係者とのコミュニケーション	プロボノの限界も実感できた	

良かった90%

- ・ 団体貢献
- ・ 関係性出来た
- ・ 自己スキル
- ・ 新しい体験

3

参考資料

これまで千葉県事業などで実施したプロボノ事例

プロボノ事業のこれまでの実施状況と 各年度のプロボノ活動内容

- **2019年～2021年の3事業年度** は、チーム型のプロボノプロジェクト「ちばプロボノチャレンジ」を実施。県域全体から延べ20団体と延べ64人のプロボノワーカーが参加（千葉県委託事業）
- **2022年度** は、3年間の振り返りのため、支援した団体向けのプロボノ後のアンケートを実施し、情報交換会で情報共有。プロボノワーカーはじめ18名が参加（自主事業）
- **2023年度** は、千葉県山間部の地域貢献に寄与する活動を行う団体や事業者と、個人のプロボノをつなぐ「ちばふるさとプロボノ」を実施し、現地訪問も交えて地域間交流を促した。3つの事業者が、7プロジェクトを実施。延べ7人のプロボノワーカーが個人で支援。（認定NPO法人サービスグラントとの連携事業）
ちばプロボノチャレンジ経験者の情報交換会を、2023年4月、2024年5月に実施。

<2021年度の「ちばプロボノチャレンジ2021」実施事例>

コロナ禍でも継続し、5団体の支援をプロボノワーカー20名でチームを組み、実施しました

	団体名	所在地	活動概要	支援希望	プロボノ活動内容
1	特定非営利活動法人 せっけんの街	柏市	リサイクルせっけんの普及活動、環境学習、雨水タンクの普及活動などを通して手賀沼、印旛沼の水質汚染に寄与する活動	SNS活用支援	SNS初心者の団体メンバーを対象としたSNS活用のためのワークショップ開催と資料作成
2	特定非営利活動法人 はあもにぃ	千葉市	地域における発達及び知的障害者の特性や適性に合わせた就労の場の提供や居場所作りを行うとともに「半径20キロ圏内からのノーマライゼーション社会の実現」へ向けた啓発活動	マーケティング支援	出店間もないフェアトレードカフェ&ショップでの来店者アンケートの実施・分析とマーケティング資料作成
3	認定NPO法人 ほっとすぱーす・つき	佐倉市	地域の居場所・集いの場づくりと訪問事業（「ホームスタート・さくら」や「ひきこもりサポーター」など）による地域力の向上に取り組む活動	ワークショップ開催支援	寄り添い型家庭訪問「ホームスタート」のボランティアメンバーを対象とした活動活性化のためのアンケート実施とワークショップ開催
4	船橋市援農クラブ	船橋市	船橋市農家へのボランティア援農作業、福祉事業を通じて、農と農地の維持・振興と次世代への継承に寄与する活動	ホームページ作成支援	Jimdoを使った団体ホームページの立ち上げと操作習得のためワークショップ実施
5	認定NPO法人 行徳自然ほごくらぶ	市川市	行徳鳥獣保護区・野鳥救護施設等の管理運営やイベント、調査の実施等を通じて、水鳥をはじめとする多くの野生生物が生息できる湿地環境の保全と復元のための活動	情報発信全般の支援	英語での発信を含めての団体やイベントの情報発信全般の再検討(ホームページの英訳や検索対策作業を含む)と提案資料の作成

参考資料

4

統計結果など参考データ

県内NPO法人の現状

【参考データ】

【内閣府】令和5年度 特定非営利活動法人に関する実態調査結果（千葉県ホームページより）

○調査概要

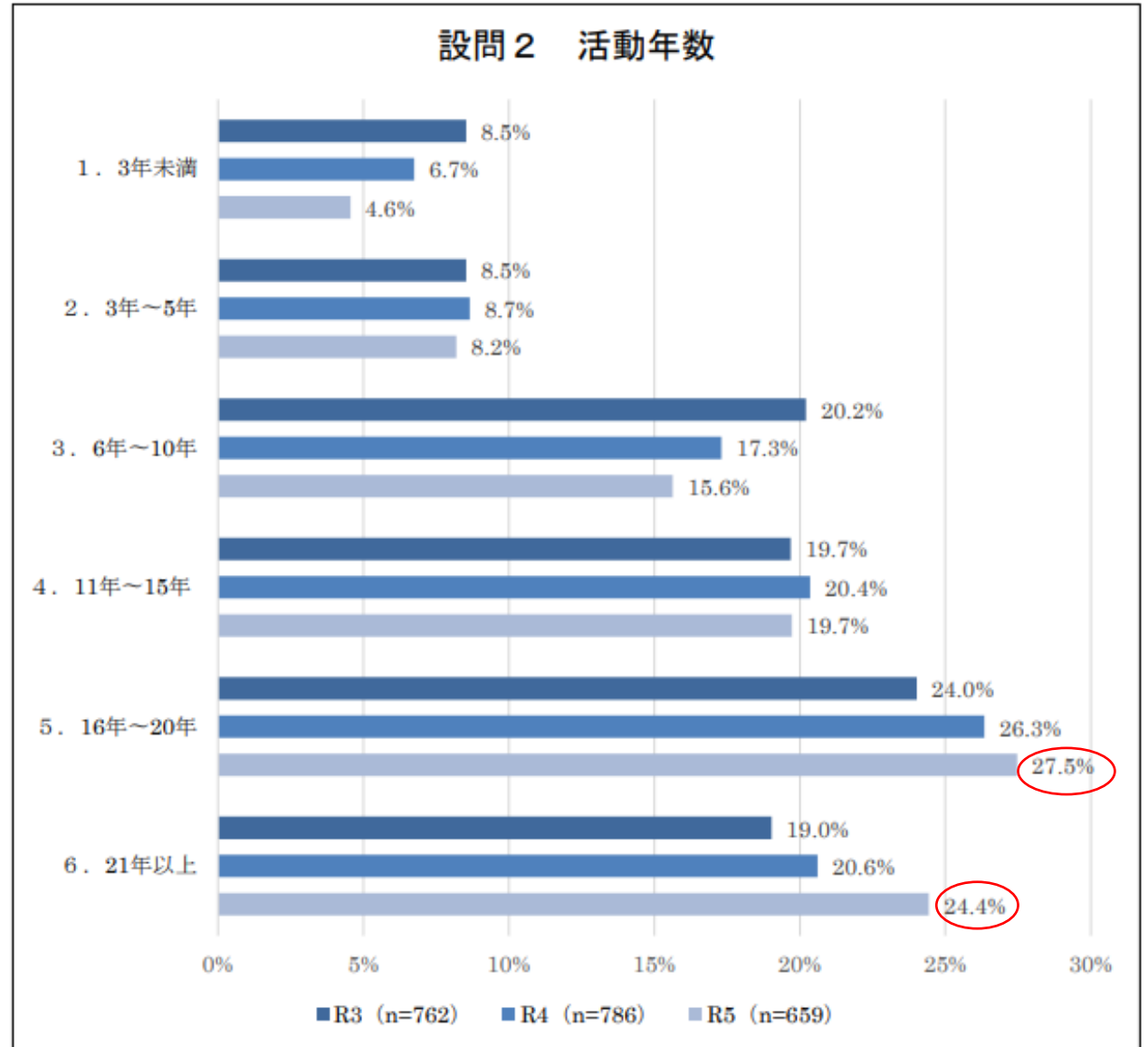
千葉県内全NPO法人 1,923 法人に対し、活動状況・財政状況・連携協働の状況等について、調査を実施。

（結果概要）

活動年数が16年以上と長い活動歴を持つ法人が回答者の過半数を超えている

〔活動年数〕

設問2 貴法人の活動年数について、あてはまる番号1つに✓を記入してください。
なお、法人の前身にあたる任意団体での活動があれば、その活動年数を含めます。



県内NPO法人の現状

【参考データ】

【内閣府】令和5年度 特定非営利活動法人に関する
実態調査結果（千葉県ホームページより）

○調査概要

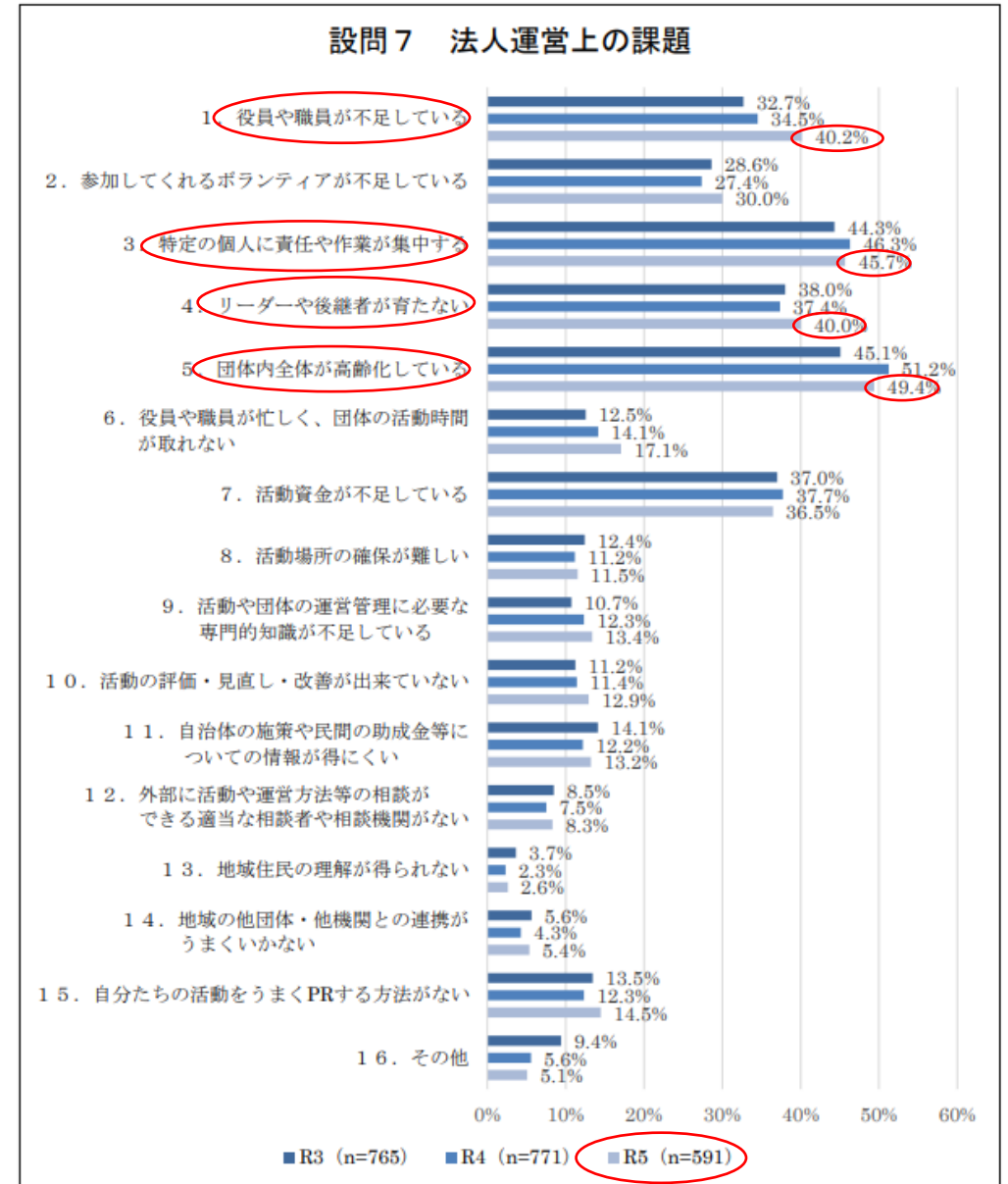
千葉県内全NPO法人 1,923 法人に対し、活動状況・財政状況・連携協働の状況等について、調査を実施。

（結果概要）

法人運営上の課題については、「団体内全体が高齢化している」が49.4%と最も多い。
また、「特定の個人に責任や作業が集中する」（45.7%）や「役員や職員が不足している」（40.2%）
「リーダーや後継者が育たない」（40.0%）など、
組織の人材に関する課題が高い値となっている。

〔法人運営上の課題〕

設問7 貴法人の法人運営上の課題は何ですか。あてはまる番号すべてに✓を記入してください。

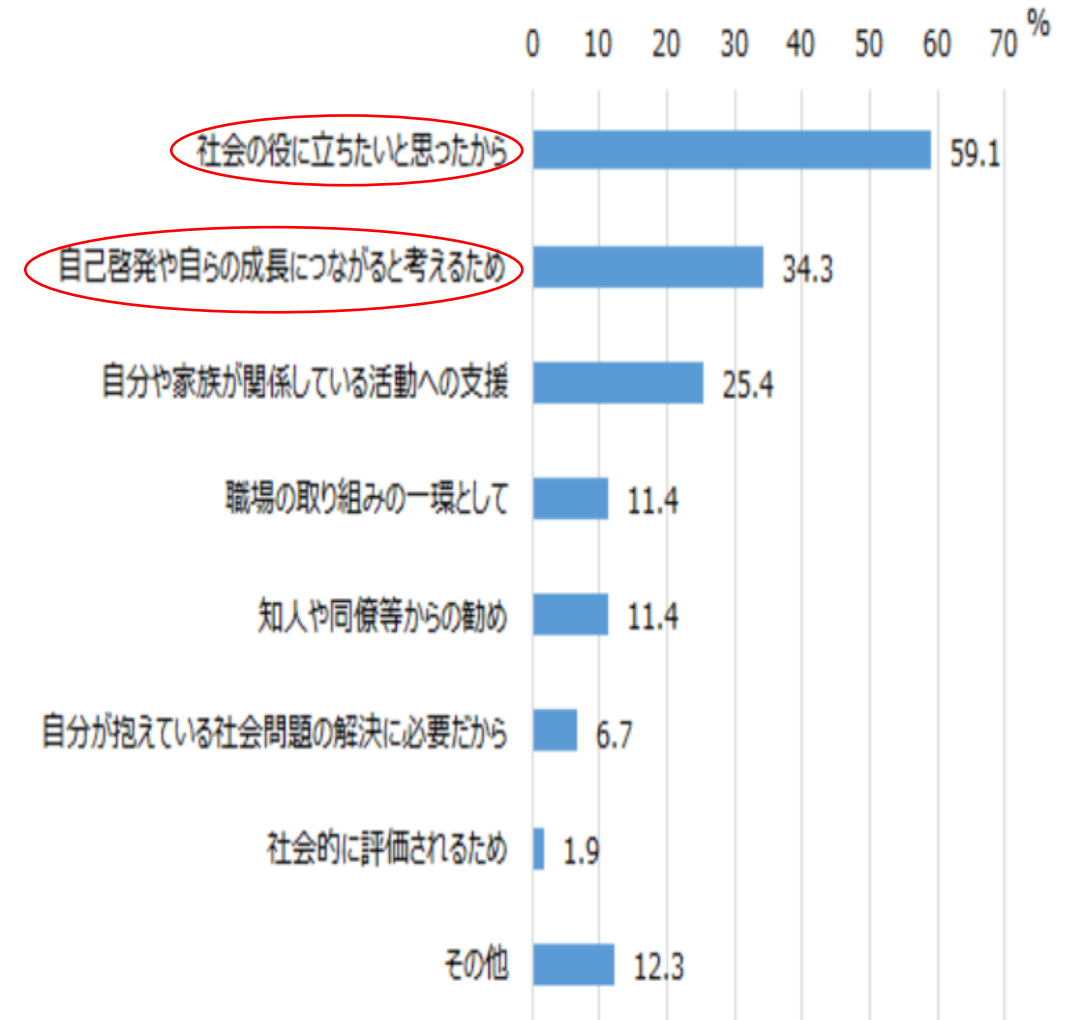


【参考データ】

(実態調査：ビジネス・レーバー・トレンド
2023年12月号) | 労働政策研究・研修機構
(JILPT) より内閣府「市民の社会貢献に
関する実態調査報告書」(2022年度) からみる
ボランティア活動の現状

男女ともに参加のネックとなるのは時間がないこと
ボランティア活動への参加の妨げとなることがある
か尋ねた結果(複数回答)を男女別にみると、男性
では、最も回答割合が高いのは「参加する時間がない」
(45.4%)で、以下、「ボランティア活動に関
する十分な情報がない」(41.1%)、「参加するた
めの休暇が取りにくい」(27.1%)、「参加する際
の経費(交通費等)の負担」(25.6%)などと続く
(図表3)。

図表2：ボランティア活動に参加した理由(複数回答)

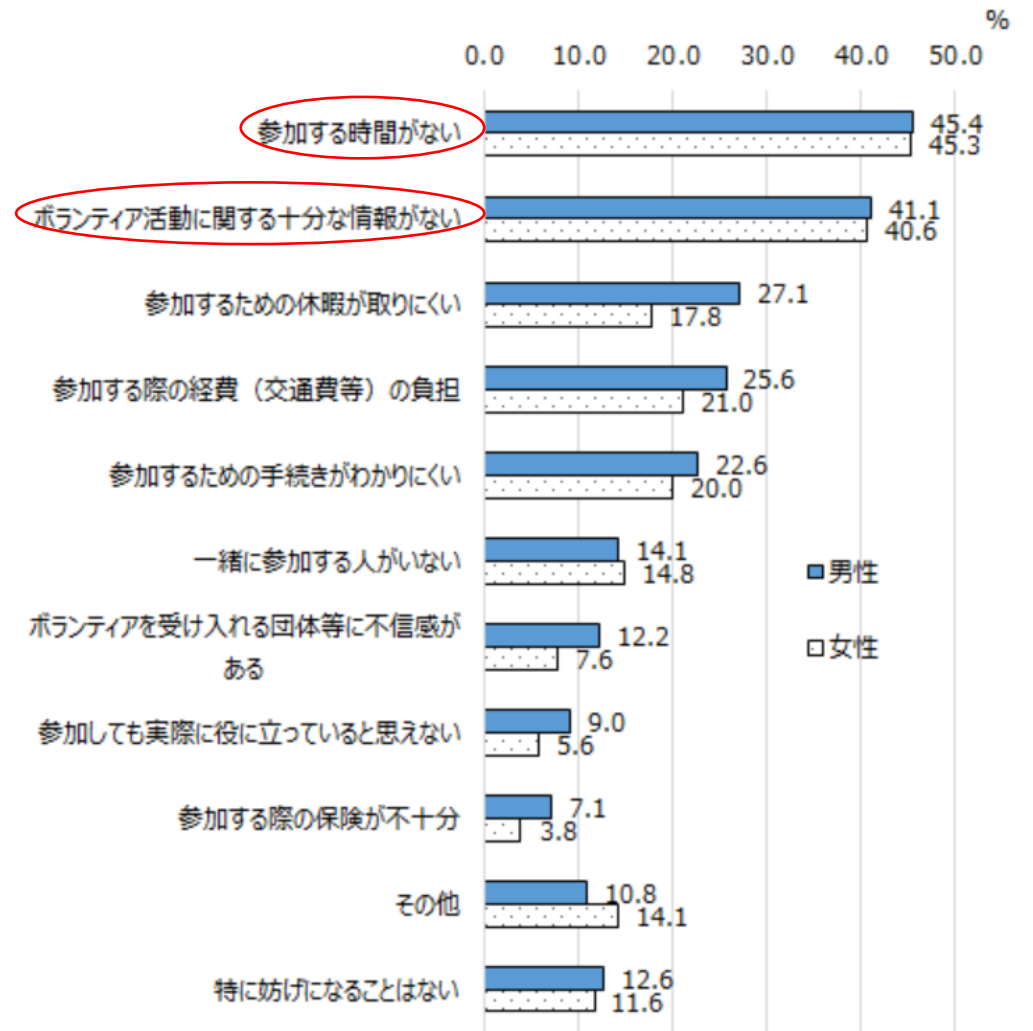


【参考データ】

(実態調査：ビジネス・レーバー・トレンド
2023年12月号) | 労働政策研究・研修機構
(JILPT) より内閣府「市民の社会貢献に
関する実態調査報告書」(2022年度) からみる
ボランティア活動の現状

男女ともに参加のネックとなるのは時間がないこと
ボランティア活動への参加の妨げとなることがある
か尋ねた結果(複数回答)を男女別にみると、男性
では、最も回答割合が高いのは「参加する時間がない」
(45.4%)で、以下、「ボランティア活動に関する十分な
情報がない」(41.1%)、「参加するための休暇が取りに
くい」(27.1%)、「参加する際の経費(交通費等)の負担」
(25.6%)などと続く(図表3)。

図表3：ボランティア活動への参加の妨げとなる要因(複数回答)



事業についてのお問い合わせは、下記まで



認定NPO法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

〒261-0011 千葉県美浜区真砂5丁目21-12

TEL 043-303-1688 (平日9:00~18:00)

Email npoclub3@gmail.com

担当：鍋嶋、赤木

どうぞお気軽に
お問合せ
ください